

## 会 議 録

会議の名称	平成28年度 第3回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成29年2月21日（火） 午後1時30分から
開催場所	住吉会館 2階 研修室
出席者	石田会長、保谷副会長、中澤委員、永田委員、浅野委員、井出委員、梅田委員、桑原委員、池田委員、本田委員、前田委員、横山委員、谷戸委員、本名委員
議 題	（報告） 「市民の健康に関するアンケート」内容について
会議資料の名称	事前配布資料 会議資料（株式会社インテージリサーチ作成） 資料1 アンケート資料（母子調査・成人調査・小中学生調査） 資料2 平成29年度 健康づくり推進協議会スケジュール（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

### 会 議 内 容

- 1 開会 開催挨拶（健康課長）  
事務局から会議の内容・進行について説明
- 2 報告  
「市民の健康に関するアンケート」内容について  
事務局から報告・説明。株式会社インテージリサーチより会議資料2, 3, 4ページの  
の詳細説明
  - 会長  
5年経過してアンケートを取った。意見はあるか。
  - 委員  
アンケートの母体の数を知りたい。たとえば総合目標①の質問は70歳以上の方に聞いているが、6ページにある、男性70歳以上257人と女性60歳以上337人を足した数が母体と  
思っているのか。②と③の母数は。
  - 事務局（株式会社インテージリサーチ菊地（以下「インテージ」という。））  
①に関してはそのとおりである。②は2140人、③は595人となっている。会議資料1ペ  
ージの有効回収数に示している。
  - 委員  
④の調査対象は。
  - 事務局（インテージ）  
母子調査である。
  - 委員  
調査種別⑥の健康応援団調査の対象は、西東京市の健康応援団として登録している市  
民団体とあるが、たとえば公民館で登録している市民の健康を応援する活動をしてい  
る団体なのか。

- 事務局  
健康応援団として市に登録し、市から健康応援団証を交付している団体を指す。
- 会長  
前回の母数や有効回収率との比較は出ていないが、ほぼ同じであるか。
- 事務局（インテージ）  
成人調査に関しては、前回2,164人でほぼ同じ。母子は前回554人で有効回収率55%ほどだったので若干上がっている。小中学生調査は学校を通してしているので回収率は前回同様高い。⑤の子育てモバイル調査と健康応援団調査は今回新しく行ったものなので前回比較はない。
- 会長  
前回とほぼ同じなので比較ができる。この結果を細かく分析するのはこれからか。
- 事務局  
今回は速報で出したものなので、これからもう少し細かく分析することはできる。
- 委員  
要望だが、子どもは小学校1年くらいに調査をして、その後の調査が20歳なので、12歳から19歳までの間の調査を入れたほうがよい。ぜひ次回やるときには入れて欲しい。
- 会長  
今回やらないと次回との比較ができない。
- 事務局  
平成13年1回目、23年に2回目、今回は初めて10年を待たないで5年で3回目の調査をした。狭間の年齢が当然出てくるが、この年齢層に次回以降調査することも考えたい。
- 会長  
もし必要ならば、今回追加してやらないと。比較できるのが5年後になるので、5年後に結果を出そうとするなら今回、基準のデータをとらないと結果が出ない。
- 委員  
10代のストレスがかなり大きい。朝食を欠食しているのが20歳からというもの、10代から見れば、そのデータがどういうものなのかがかなり見えてくるのではないか。その年代のアンケートを要望する。中学1年と20歳ではかなりの差があるので、その間のどこか2点を調査するのはどうか。
- 会長  
たとえば高校1年と大学1年では。学生ならば高校などでアンケートはできるか。
- 事務局  
他の調査でそういう年代のものがあるかもしれない。朝食をとっているかなど。新たに2学年のアンケートは難しいので、子育て支援課が行っている調査など、色々な調査の中で活用できる項目がないか調べる。
- 会長  
次回の健康づくり推進協議会で、健康づくり推進プランの内容を検討することとなるのか。
- 事務局  
今の健康づくり推進プランは、平成25年度からの10ヵ年計画である（※平成35年度まで計画期間を延伸する。）。  
今後、中間点を迎えるにあたり、今回市民アンケートを実施し、来年度以降、この協議会で、後期計画にあたる（仮称）健康都市プログラムの策定をご検討いただく予定としている。

- 会長  
状況がものすごく変化している。早めに手を打つとしたら、早めに改定をする必要がある。10年のスパンは長いので、新しい知見が入ってきて改定する必要があるのではないか。
- 事務局  
後ほど、平成29年度健康づくり推進協議会スケジュールの中で説明をさせていただきます。
- 会長  
健康づくり推進プランの利用率がとても低い。認知、実践率が低い。これだけ労力をかけて作る効果が見えてこない。良いアイデアが出ない。なんとか市民に利用していただくようよいアイデアはないか。
- 委員  
今までに具体的な対策を講じてきたことは。
- 事務局  
プランを市民に伝えるには、分かりやすさが大事なのかなと感じる。今回の調査結果から、今後5年間どうしたらいいか精査し、それを市民に分かりやすく見やすくお伝えしていく。色々な健康事業のなかで使っていく。
- 会長  
前回の会議の中で概要版を配布する案が出て実行したはず。コミュニティがしっかりして話し合う場がないと周知が難しい。配るだけではなく、どこかのコミュニティで集まって説明する人がいてという形でやらないと。
- 委員  
スタンプラリーで、レストランなどをまわるものがある。公民館やスポーツクラブなどでスタンプラリーをして資料を配るのはどうか。
- 会長  
資料は配ったが、アイデアがないと周知できない。
- 委員  
西東京市が来年度予定するフレイル予防事業は、市報のほか、新聞報道や地域の情報誌にも取り上げられていた。  
推進プランも、概要版を作成する際にクイズ形式を取り入れたりしたが、周知は難しかった。
- 会長  
フレイル事業を行う際に推進プランの内容を説明してくれる方がいればよい。推進プランの冊子を配っただけでは見ていただけない。いかにそれが大事なことなのか説明しないと。予算の関係もあって、全体には配れないはずだ。その点が一番の課題である。推進プラン全体の内容はすべて市のホームページで見られるので、本当に興味のある人は見ることはできるようになっている。次回、アイデアを考えてきていただきたい。
- 委員  
各団体が市民の健康づくりのために何をしているかホームページの一つにまとめてみるのはどうか。例えば歯科医師会では先日の子育てフェスタで食育に関して、子供がどうやって育つかの講演会や相談会をした。そういった関係団体の市民に対する講演会の情報などを一つの枠に収めることを行政にしてもらえば、市民も情報を得やすいのではないか。
- 会長  
せっかく健康応援団ができたのだから、その団体でやってもらうなど工夫ができる。

コミュニティで分かりやすく説明できる人がいるとよい。こんなに素晴らしいプランなのだからぜひ利用していただきたい。そうすれば色々な面でアンケート結果に反映されてくると思う。ほとんどの結果では有意差はないと思われる。次回の協議会でその点でアイデアや意見を出してほしい。また同じ繰り返しでは、5年後も認知されていない結果になる可能性がある。

### 3. その他

事務局より、平成29年度 健康づくり推進協議会スケジュール（案）について説明

#### ●事務局

今回実施したアンケート結果のほか推進プランの到達度等を精査しながら、平成29年度から推進プランの後期計画（仮称 健康都市プログラム）を策定していきたい。また、来年度中に協議会委員の任期（満了）との関係もあるので、調整しながら進めさせていただく。

#### ●会長

推進プランの計画期間は10年、ちょうど、これから中間年を迎える。

プラン策定から時間も経過しており、新たに「フレイル（虚弱）」予防という考えも広まってきた。

今後策定する後期計画の中では、取り入れるべき考え方であり、従来の介護予防とまったく違う新しい健康づくりになる。

身体的フレイル、社会的、精神的フレイルが入ってくる。プランの作り方も変えていけないといけない。主に高齢者の栄養の考え方も加えていったほうがよい。

#### ●事務局

健康都市宣言（平成23年8月）で取り上げた5つ健康づくりのテーマを踏まえ、現行の健康づくり推進プランが策定されている。そのプランが掲げる目標達成に向け、中間期において、後期計画の健康づくりの具体的な柱を考えていく必要がある。

食育推進計画も含めた平成30年度以降の健康づくりに関する計画として捉えるもので、これを（仮称）健康都市プログラムとして策定をしていく（策定期間は、平成30年度から36年度まで 6カ年計画）。

#### ●委員

健康づくり推進プランの認知度が上がらないのは様々理由があるかと思う。市の総合計画の期間とズレがある。スケジュール表を見ると1年延伸するという事で市の総合計画に合わせるということになった。現段階では計画期間のズレはあるが今後整合性がついた後は、後期アクションプランと健康づくり推進プランが、市の総合計画や他の福祉関連計画に反映しやすいと考える。

#### ●委員

毎朝ラジオ体操をしている。ラジオ体操は健康づくりに役立つもの。ラジオ体操会では市内7箇所で行っているが今後増やす予定。体力づくりの一つとして新たにラジオ体操を始めた者の開始後の変化についてアンケートを行い効果を検証する予定である。

#### ●会長

それは市民団体として独自に行うものか。

#### ●谷戸委員

独自に行う。ラジオ体操会は全国ラジオ体操会が母体であり、市の体育協会に入っている。

#### ●会長

様々な団体の協力を仰ぎ健康づくりを広めることがよい。次回アイデアを出して欲しい。行政ができることとできないことがあると思うが有効なものにするためにはい

ろんなことをやらないと。健康づくり推進プランは内容的には素晴らしいものなので  
きちんと読んで実践したら改善率は上がるだろう。

閉会